



# 議会だより

No. 227

令和6年4月25日



里山の彩り  
(矢ばなの里)



大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



## 主な内容

3月定例会の概要	2・3ページ
代表質問の概要	4～6ページ
一般質問の概要	7～11ページ
常任委員会審査報告	12・13ページ
特別委員会報告	14・15ページ
議案等の各議員表決	16ページ

### 議会だよりを音声で聞けます

議会だよりの掲載内容を読み上げた音声データをホームページに掲載しています。音声の吹き込みは、音訳ボランティアグループ「麻那の会」の協力で行われています。



### 発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

### 編集：議会だより編集委員会

## 3月 定例会の概要

第438回定例市議会が2月26日から3月25日までの29日間の会期で開催されました。  
今回の定例会では、令和6年度の各会計予算案、令和5年度各会計補正予算案、条例の制定・改正・廃止、人事案件などの全42議案のほか、12月定例会から継続審査となっていた指定管理者の指定（大野市元町会館）、そして議員提出の市会案1件、陳情1件について審議しました。審議結果は、16ページのとおりです。

### 副議長に白崎氏

定例会初日に林副議長の辞職に伴う選挙を行い、白崎貴之氏を選出しました。  
また、議会運営委員会と各常任委員会の委員を改選しました。

4日目には、大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員の補欠選挙で、廣瀬浩司氏を選出しました。



白崎 貴之 副議長  
(第59代)

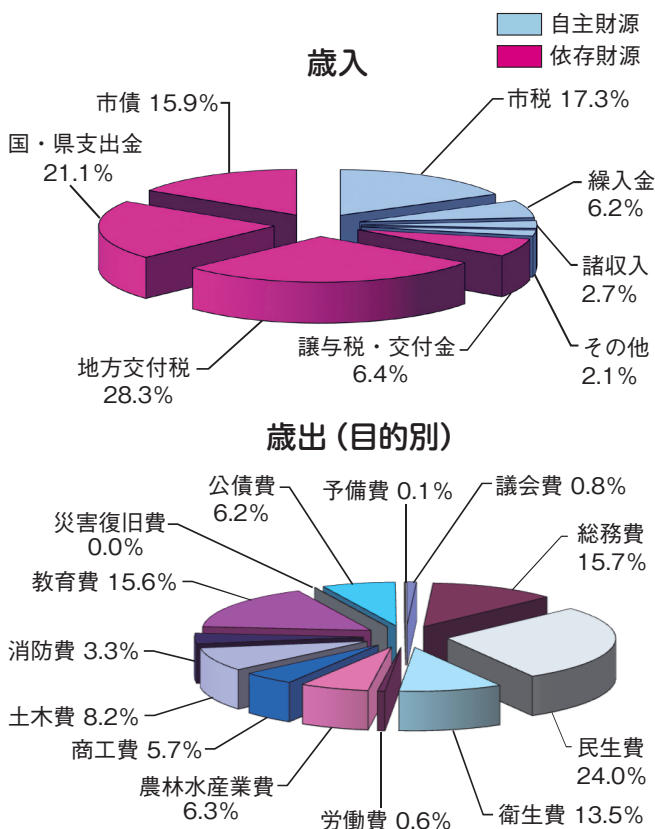
### 予算特別委員会を設置

議会改革の取り組みの一つとして、予算議案を活発に議論するため、新たに予算特別委員会を設置しました。

議会運営委員会	常任委員会		特別委員会		
	総文厚生	くらし産業	中部縦貫自動車道等交通対策	こども政策・公共施設等改革	予算
◎山崎 利昭 ○帰山 寿章 木戸屋八代実 林 順和 伊東由起恵	◎廣瀬 浩司 ○岸本 一敏 帰山 寿章 木戸屋八代実 野村 勝人 高田 育昌 堀田 昭一 高岡 和行	◎猪嶋 清文 ○伊東由起恵 笹山 晃一 白崎 貴之 林 順和 山崎 利昭 廣田 憲徳 梅林 厚子	◎林 順和 ○岸本 一敏 帰山 寿章 山崎 利昭 高田 育昌 梅林 厚子 高岡 和行	◎伊東由起恵 ○笹山 晃一 猪嶋 清文 白崎 貴之 木戸屋八代実 廣瀬 浩司 野村 勝人	◎山崎 利昭 ○林 順和 ○笹山 晃一 帰山 寿章 猪嶋 清文 岸本 一敏 白崎 貴之 木戸屋八代実 廣瀬 浩司 伊東由起恵 野村 勝人 高田 育昌 廣田 憲徳 梅林 厚子 高岡 和行

◎が委員長、○が副委員長

## 令和6年度各会計予算決まる



第六次大野市総合計画前期基本計画の4年目を迎えます。  
2030年の将来像「人がつながり 地域がつながる 住み続けたい結のまち」を実現するため、各種施策を着実に前進させます。  
高速交通網の延伸を生かし、稼ぐ力を促進するため、地域経済を活性化させるための施策を一層進めていきます。  
また、「こどもまんなか応援サポーター」宣言に沿った子どもや若者を地域全体で支えるまちづくり、各分野における人づくりと人材確保、市民の安全・安心・快適な暮らしの確保、カーボンニュートラルの達成に向けた取り組み、行財政運営の最適化の推進を重点施策として展開します。  
なお、昭和29年7月1日に2町6村が合併して市制を施行し市制施行70周年を迎えることから、記念式典を開催します。

会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	213億8000万円	12.2
特別会計	81億4015万円	△3.8
企業会計	28億8673万円	27.7
<b>総計</b>	<b>324億688万円</b>	<b>8.9</b>

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など5会計の合計額。企業会計は水道事業、簡易水道事業、下水道事業の3会計の合計額

# 一般会計予算の主な事業

## 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の促進

### ○結のビジネス創出事業 322万円

結のビジネスプランコンテストを開催し、新たなビジネスの創出を促進します。

### ○越前おおの型農業推進事業補助 250万円

市の基幹的な転作物である麦やソバ、大豆の生産に必要な機械の導入に対し、市独自で補助します。また、ドローンの導入による農作業の省力化と後継者不足に対応するため、ドローン操作講習の受講費用を補助します。

## 子どもや若者を地域全体で支える取り組み

### ○小中学校施設改修事業 16億1172万円

児童・生徒の学校生活や学習環境の充実を図るため、改修工事（開成中・陽明中・下庄小）と改修工事に向けた実施設計（有終南小・富田小）を行います。

### ○こども家庭センター管理運営経費 892万円

こども家庭センターを設置し、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援（窓口機能の強化）を行います。

## 人づくりと人材確保

### ○結の故郷地域が輝く交付金事業 2235万円

各公民館が地域の拠点となり、地域の活性化、活力の維持、課題解決、住民の交流を進める事業や共通の目的を持つ市民や団体による取り組みを支援します。

### ○介護職員資格取得支援事業補助 6万円

市内の介護施設等で勤務し、介護支援専門員（ケアマネジャー）として従事する見込みのある人の再研修受講料の一部を補助します。

## 安全・安心・快適な暮らしの確保

### ○健康づくり応援事業 4955万円

ヘルスウォーキングプログラムの参加者を2930人に拡充し、スマートフォンで参加できるコースを新設します。

### ○防災行政無線整備事業 4億8455万円

同報系防災行政無線システムを更新します。

## カーボンニュートラルの達成に向けた取り組み

### ○太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助 363万円

一般家庭の屋根置き太陽光発電設備と蓄電池の導入経費を補助します。

### ○獣害等被害林再造成支援事業補助 680万円

国の補助対象とならない獣害等被害林の伐採、搬出経費を補助します。

## 行財政運営の最適化の推進

### ○事務統合システム経費 1783万円

財務会計システム更新に合わせ、人事給与や文書管理などの事務を一体的に管理できるシステムを導入します。

## 市制施行70周年記念事業

### ○市制70周年記念式典経費 445万円

7月1日（月）に、市政の進展に貢献された人への顕彰と、節目を祝うセレモニーを実施します。

### 条例の制定等

#### 大野市公共施設等総合管理基金設置条例案

公共施設等の整備、保全、廃止等を計画的に進める財源として、基金の設置を定めました。

#### 大野市バス運行事業に関する条例の全部を改正する条例案

市営バスの再編に伴い、路線又は区域及び使用料等のほか必要な事項を定めました。

#### 大野市立学校設置条例の一部を改正する条例案

中学校再編により、上庄中学校、尚徳中学校及び和泉中学校を廃止しました。

### 人事案件

#### 固定資産評価審査委員会委員の選任について

中村広之氏（牛ヶ原）を選任することに同意しました。

#### 人権擁護委員候補者の推薦について

萩原勢子氏（泉町）、

山本則子氏（新町）及び脇本正信氏（稲郷）を推薦することに同意しました。

### その他の議案

#### 大野市過疎地域持続的発展計画の変更について

過疎地域の持続的発展を図るための事業を事業計画に追加しました。

### 市公案

#### 鳥獣害防止対策の強化を求める意見書について

農林業における鳥獣害の実態を調査し、それに基づいたさらなる支援策を推進するため、鳥獣害防止対策の強化を求める意見書を政府関係機関に提出することとしました。

### 陳情

#### 最低賃金の大幅な改善を求める陳情書

福井県労働組合総連合議長鈴木孝典氏からの本陳情は、趣旨採択としました。



市政会

伊東由起恵 議員



代表質問

# 本市の出生数減少の対策は

## 人口を維持・増加させる対策と、人口減少に適応していく方策の両面から取り組む

**問** 本市の出生数減少の要因と対策は。

**答** 平成30年の出生数は198人、令和元年は161人、令和2年は191人、令和3年は152人、令和4年は149人と減少が続き、令和5年は110人となった。子どもを産み育てる年代である20歳から49歳の人口の推移を見ると男女共に減少幅が増加していることから、出生数が減少しているものと推測する。

**問** 本市は、こども家庭センターを設置し、相談窓口を設けることとして支えを必要とする子育て家庭へのサポート体制はどう変わるのか。

**答** 専門職である保健師と管理栄養士、また社会福祉士、家庭児童相談員、母子父子自立支援員などの専門スタッフを集約し、相談体制を充実させる。妊産婦や乳児の保護者に対する相談支援とサポートを必要とする児童や保護者に対する相談支援を一体的に行うことで、常時情報を共有することができ、支援が必要な家庭に対して切れ目のない支援が実施できる。

**問** 令和6年度における介護サービスの課題として介護人材の確保を挙げているが、人材確保に向

けた本市の考えは。

**答** 本市は介護人材確保に関する国や県の制度について、随時、介護事業所に紹介し、有効に活用してもらえよう努めている。

加えて、新年度から介護支援専門員、いわゆるケアマネジャーの実務に必要な再研修受講に係る経費の一部を助成する。また、学生の進路選択に際し、介護職の魅力を正しく認識し就業につながるよう、多様なアプローチの方策を考えていく。

**問** 能登半島地震を教訓に改めて大規模地震に備えて、本市が個人や自治会等に対し求めることは何か。

**答** 個人においては、非常用の防災用品を備え、家具などの転倒防止対策や建物の耐震化に加え、日頃から危険箇所等を把握し、速やかに避難ができるよう指定避難所へのルートの確認などを行っていたきたい。

共助組織である自主防

**問** 六呂師エリアの活性化に対する市長の意気込みは。

**答** 六呂師高原には、スイスのアルプスを思わせる高原の景観や日本美しい星空などの資源がある。自然の景観や環境を保全しながら観光活用に取り組み環境共生の考えに基づいて、新たな誘客策の検討を進める。

**問** 乾側小学校の学校再編以降、地元と進められてきた整備スケジュール等を含めた跡地利用の協議状況は。

**答** 本年度は公民館の建て替えや小グラウンドの配置、事業工程などについて、地元と協議を重ねた。策定する施設整備基本計画に基づき、令和9年度の完成を目指す。

**問** 休日における部活動の地域移行を推進するた

め、総括コーディネーターを配置し、受け入れに関する協議や交渉を進めているが、その成果は。

**答** 令和4年度から実証事業を実施している軟式野球、サッカー、バスケットボールの運動部活動3競技について、個別に関係者との協議を進め、地域移行における課題の整理が進んだ。また、文化部活動の吹奏楽については、昨年10月から地域移行に向けた活動を始めることができた。

さらに、陸上、バレーボール、卓球、バドミントン、ソフトテニスの運動部活動5競技についても、調整の結果、令和6年度から実証事業に取り組めるようになり、休日に活動する全ての部活動が、運動部は夏季大会終了後、文化部は発表会終了後には地域クラブに移行する体制を整えることができた。

# 能登半島地震を受けて地域防災計画をどのように見直したか



大野市民の会

いのしま  
猪嶋 清文 議員



## 気象状況や災害規模に対応した配備体制に見直した

**問** 星空のまちという素晴らしい特徴を持続して発信し、未来へつなげていくために、教育課程からの取り組みが重要と考えるが、学校でどのように取り組んでいるか。

**答** 小中学校では、ふるさと学習の一つとして、小学校では、総合的な学習の時間や特別活動などでゲストティーチャーを招いたり、自然保護センターに出掛けたりして、本市の星空の美しさや星座などについて学んでいる。また、PTA行事などで、実際に夜間の星空観察を実施している学校もある。

**問** 人口増加につなげるためにできることについて探究した例もある。高校では、地域おこし協力隊が生徒のサポート役となり、星空観光の推進イベントを開催した。

**問** 今回の補正予算では、減額補正が目立ったが、当初予算編成時に十分な精査をしているか。

**答** 事業の目的や内訳、想定される効果、所要額の積算基礎及び財源内訳、法令や制度などの根拠を明確にし、事業が市の方針や計画に沿ったものか、市民や事業者などのニーズを踏まえたものか、将来の財政負担はどうか、複数の視点で確認を行っており、事業ごとにきめ細かく予算を編成しているが、事業量の予測が難しい事業では

実績による減額補正を行った。

今後とも適正に予算編成を行い、効果的に事業が進捗するように、事業やサービスの内容の周知に努めていく。

**問** 能登半島地震を受けて地域防災計画をどのように見直したか。

**答** 近年の激甚化、頻発化する災害に対応するため、災害対策連絡室の設置基準でも早期の情報連携と災害対応が可能となるよう、情報連絡会を設置することとし、気象状況や被害状況等により速やかに災害対策連絡室に移行できるようにした。

今後は、能登半島地震と同規模程度の災害等で被災した場合を想定し、現在の計画で十分であるか検証し、職員研修や訓練などで初動態勢の確認を行うとともに被災地派遣職員の活動報告などによるインフラ整備の復旧を含め、災害対応業務の洗い出しや優先業務などの確認を行い、地域防災計画の全体的な点検作業を進めていく。

**問** 県は能登半島地震の状況を踏まえて道路啓開計画を令和6年度に策定することであるが、市に同様の計画策定の予定はあるか。

**答** 大野市地域防災計画において、大規模災害時には、災害対策活動を迅速かつ効果的に推進するため、県が重点的に応急復旧する路線として定めている緊急輸送道路や主要道路から優先的に被害状況を把握し、状況に応じた応急復旧を行い、交通の確保に努めるとしている。応急復旧実施の際には、大野建設業会や北陸電力株式会社などの協力を得て、速やかに応急措置を行い、道路機能の確保に努めることとしている。

なお、県が策定する予定の道路啓開計画を参考にし、必要があれば大野市地域防災計画に盛り込むことを考えている。

**問** 北陸新幹線の県内延伸により観光客の増加が期待されるところであるが、タクシーなどの2次交通の手段が乏しい状況である。利便性を高めるため、ライドシェアの導入や駅に併設された駐車場を利用したレンタカーの配置を検討できないか。

**答** 国は、2月にタクシー会社が運行管理するライドシェアの導入方針を提示したところである。また自治体が運行主体を担う自治体ライドシェアについても他市で検討が進められているところであるが、事業実施に当たっては、費用負担を検討する必要がある。レンタカーについては、民間事業者が、スマートフォン専用のアプリによる無人の貸し出しサービス、実証実験を兼ねて城下町東広場に配置しており、この利用実績を検証した上で検討していく。

代表質問



もえぎ会

高岡 和行 議員



代表質問

# 市政全般について問う 特に教育委員会の事務事業を問う

## 不登校は、昨年度に比べ増加傾向 学業は小学生で国県と同等、中学生で国県をやや下回る

**問** 本市における災害時インフラ整備（道路・電気・水道）計画についての現状はどうか。

**答** 今回の能登半島地震の被災地の被害状況から災害に強いインフラ整備の重要性を再認識したので、今後、国や県の動向を注視し、必要に応じて地域防災計画等の見直しを行っていききたい。

**問** 昭和56年以前の建物数と過去5年程の耐震診断数と改修の件数は。

**答** 4145戸あると推計され、耐震診断は43件、耐震改修は5件である。

**問** 災害時における高齢者・障がい者の避難誘導や避難方法、また自主防災組織との連携はどうか。

**答** 高齢者や障がい者のうち、自ら避難することが困難な人に対して支援

プランを作成し、自主防災組織の共助による連携強化を図る。

**問** 最近の火災事故において、出火原因が特定されていないのはなぜか。また、非常備消防隊員の人数は。

**答** 損傷が激しいため原因不明となっている。非常備消防団員数の条約定数485人に対し、現在は452人である。

**問** 高速交通アクションプログラムにおけるまちづくりの具体的な進捗と商工業に対する活性化策はどこまで進んでいるのか。

**答** 越前大野城の装飾、天空の城VR動画、星空保護区の認定で、観光における周遊性を高めた。商工業に対する活性化策として、企業価値の向

上に向け取り組み、稼ぐ意欲のある事業者を集中支援している。

**問** 本市の産業団地を7年で完売するとしているが、いかなる企業が来るのか。

**答** 日本海側と太平洋側をつなぐ中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通が近づくことにより、企業が物流や製造の新たな拠点を沿線に求めやすくなるのが考えられる。令和8年までに全区画分譲を目指す。

**問** 農業者の現状と、後継者育成策、新規営農者への取り組みは。

**答** 令和2年の農産物販売金額規模別経営体数の割合は、販売金額300万円以下が85%。後継者育成策、新規営農者への取り組みに、国や県の補助金制度を活用する。

**問** 自殺・いじめ・不登校といった問題行動の現状と対策・効果は。

**答** 不登校の状況は、昨年度に比べて増加傾向である。

**問** 金管バンド・プラスバンドが少なくなっているのでは。

**答** 金管バンドに取り組んでいる学校はない。吹奏楽は、3中学校で活動している。

**問** 小中学生の成績は県下での位置にあるか。

**答** 昨年4月に実施された全国学力・学習状況調査において、小学生は全国や県と同等で、中学生は全国や県をやや下回る結果である。

**問** 石山市長就任以来の出生数は。大野ですくすく子育て応援パッケージとの整合性は。

**答** 出生数は平成30年198人、令和元年161人、令和2年191人、令和3年152人、令和4年149人、令和5年110人。ライフステージにに応じて切れ目のない子育て支援に取り組む。

**問** 隣接市の保育料完全無償化について、本市の考えは。

**答** ライフステージに応じた支援策を引き続き提供する。

**問** 本市の市債・臨時財政対策債・過疎債・下水道事業債の残高は。経常収支比率が悪くなっているかどうか。

**答** 市債残高は一般会計で約121億円、下水道事業会計で約81億円、その他で約15億円、全体で約217億円である。臨時財政対策債は約64億円、過疎債は約25億円である。経常収支比率は95.3%である。

**問** 地下水水位低下と市街地を流れる川の水量が非常に少ないがどうか。

**答** 地下水水位低下は、近年、秋ごろの降水量が少ないためである。以前にあった市街地へ流れる水路の流量の減少は、土地改良区の水路改修による真名川からの取水制限が理由である。

**問** 七間朝市の出店者が激減しているがどうか。

**答** 朝市出荷組合の活動を継続していただきながら、関係者との協働によりにぎわいづくりに取り組んでいく。

# 公共下水道の加入促進と農業集落排水との統合について



## 住民に対し丁寧な対応を心掛け理解を得たい

大野市民の会

かえりやま  
**帰山 寿章**  
としあき  
議員



**問** 公共下水道の加入率は。

**答** 本市の公共下水道事業は名水のまち大野として水循環の保全を図るとともに、市民の快適な生活環境を確保するため整備を進め、全体計画917・5％のうち、750・6％、面積比で81・8％の整備を終えており、接続人口の割合を示す水洗化率は39・2％である。

**問** 加入促進の対策は。

**答** 加入されていない家庭へは職員が戸別訪問し、接続に係る支援制度を紹介するなど、丁寧な対応を心掛け、理解が得られるよう努めていく。

**問** 合併処理浄化槽から公共下水道への切り替えの状況は。

**答** 浄化槽設置整備事業補助は、公共下水道の事業認可区域や農業集落排水事業等の事業採択区域以外を対象として、合併

処理浄化槽を設置しようとする人に、その費用の一部を補助するもので、補助を受ける人には公共下水道の管路が整備された場合、速やかに接続する誓約をもらっている。

**問** 農業集落排水との統合の状況は。

**答** 人口減少の到来による使用料収入の減少と施設の老朽化が進む中、良質な汚水処理を持続的に

行うことを目的に、令和4年3月策定の大野市汚水処理最適化計画に基づき、市街地に近い農業集落排水施設は公共下水道に、また農業集落排水施設同士での接続により、人口に応じて施設規模を縮小し最適化するもの。また、統合に併せて料金定額制から使用水量による従量制に統一するもので、各処理組合や住民に理解を得られるよう説明を行っている。

# 結ステーション駐車場での有料化実証実験の詳しい内容は

## 令和6年度は、既存の駐車場の利用実態調査と料金システムの検討、令和7年度から試験運用を実施する



市政会

ひろせ  
**廣瀬 浩司**  
こうじ  
議員



**問** 結ステーション駐車場で有料化実証実験の詳しい内容は。

**答** 令和6年度は、まず、既存の駐車場の利用実態調査を実施し、料金設定、導入する料金システムの検討を進め、令和7年3月までに料金システム設備を設置する。令和7年度から料金システムによる試験運用を実施し、適切な駐車料金、周辺施設や商店街等利用者の割り引きなどを決定していく。

**問** 上庄中、尚徳中、和泉中の生徒を開成中、陽明中に迎えるに当たり、どのような支援を行うのか。

**答** 再編後の中学校における生徒の支援を充実させるために、県から両中学校に1人ずつ統合加配教員が配置される。また、いじめ・不登校対応加配教員の配置も予定している。

**問** 人事異動では、上庄中、尚徳中、和泉中の教員の一定数が、開成中、陽明中に異動することにより、転入生徒が精神的に安定し、安心して通学できるように配慮する。

**問** 教育長は、新年度、有終東小学校の通学区域について、審議会を設置し調査、審議すると述べられたが、どのような取り組みをするのか。

**答** 令和5年度の大野市通学区域審議会の答申の中で、「同じ小学校の卒業生が同じ中学校へ進学できるように通学区域の設定を行うことが望ましい」と述べられた。通学区域が二つの中学校にまたがる有終東小学校について、令和6年度に通学区域審議会を設置し、小学校区及び中学校区の通学区域の考え方について検討し、令和6年度内の答申を予定している。

# 市長が考える市内のキャッシュポイントは



市政会  
林 順和 議員  
はやし よりやす



## 「まちなか」など四つのエリアは事業者が収益を得る場所

**問** 市長が考える市内のキャッシュポイントは。

**答** まちなか、六呂師高原周辺、和泉、道の駅「越前おおの荒島の郷」の四つのエリアは事業者が収益を得る場所と考える。

**問** 屋内型子ども遊び場整備による新たなターゲット層の子育て世代が、中心市街地でお金を落とす想定は。

**答** 子連れに優しい飲食店を認定して、昼食を取ってもらうことで、まちなかでの滞在時間を長くしていきたい。

**問** まちなか遠足のスタート地点を本願清水イトヨの里にして「名水と城下町」を体現できるように有効活用すべきでは。

**答** アイデアなどもいたしながら、ぜひやっていきたい。

**問** 市の施策に関わる女性も多くいる。市政に携わる人々の声は市長まで届いていないのか。

**答** 女性活躍の場づくりは、少子化対策、子育て世代の流出抑制対策として極めて重要と考える。各施策の推進に当たっては、女性や若者をはじめ、多様な層の意見を聞きながら事業を検討し実施している。

**問** 昨年8月、市内の女性経営者との意見交換会で、行政のトップとして何か得たことは。

**答** 男らしく、女らしくではなく、やはり一つの事業所のリーダーとして振る舞われている。

**問** 昨年4月に着任された副市長から見ると、今の組織は市民、市内事業者のために動いているか。

**答** 市民の声を聞くために現場に行こう、市民の中に入っていかうと話しており、今回の当初予算にも反映されている。

一般質問

# 能登半島地震の教訓から、地域防災計画等の見直しは



無党派  
野村 勝人 議員  
のむら まさと



## 本市で大規模災害が発生した場合を想定した対応などの検証を行い、地域防災計画等の全体的な見直しを進める

**問** 能登半島地震の教訓から現在の地域防災計画や総合防災マップ(ハザードマップ)などをどのように見直していくのか。

**答** 被災地では職員も被災し、救助や避難者への対応等公助の支援には時間がかかることを再認識している。

現地派遣職員による活動報告を全職員で情報共有し、防災対応力の向上に努めていく。

職員の初動態勢を見直し、地域防災計画及び職員参集マニュアルの改訂を行った。近年の災害に合わせ、職員の参集時期などの配備体制を現実に即した内容に修正し、従来の計画よりも早期に災害に対応することにした。

本市で大規模災害が発生した場合を想定した対応などの検証を行い、地域防災計画等の全体的な見直しを進めていく。

**問** 被災者が避難所に入りきれない状況であった。市として避難所の増設、仮設テント、体育館以外の教室の利用などの対策が必要である。また市民に備蓄を呼び掛けることも大切だが、市として暖房器具、トイレ・キッチン用品、ベッド、全市民対象の最低3日分の飲料水や食料の確保、さらに更衣室・トイレ・保健室・乳児を抱えた女性等が安心して過ごせる専用スペース等が必要である。本市の現状と対策は。

**答** 避難所に避難して来る想定人数の1日分を市が3分の2、県が3分の1を備蓄する。不足分は他市・国の援助で物資の確保に努める。水は協定先の事業者、給水車に対応し、停電の際は早期に地下水をくみ上げられるよう電力事業者と協力して解消に取り組む。



# 地域主導型公民館への移行の考えは

## 公民館を住民が主体的に運営できるように進めていきたい

※1 集落支援員は総務省の過疎地域等における集落対策の推進要綱に基づくもの

**問** 地域主導型公民館への移行の考えは。

**答** 行政だけでは住民ニーズに対応することができない課題がある中、持続可能な地域社会を構築するために住民主体のまちづくりを推進していく。令和2年度から大野市区長連合会と連携し、地域課題解決への取り組みや、各地区まちづくり団体の活動を支援している。活力ある地域を次世代につなげていくために、公民館を住民が主体的に運営できるように進めていく。

**問** 結の故郷地域が輝く交付金事業の取り組みは。

**答** 地域活性化事業、集落内交流事業、グループ活動応援事業、屋根雪下ろし等支援事業など、44の活動に交付した。

**答** 各公民館に職員を配置しているので、本制度（※1）は活用していない。今後も他市町の事例を注視しつつ活用を検討を行っていく。

**問** 魅力発信プロモーション事業の内容と目的は。

**答** 越前おおのブランドの魅力メディアセールスの実施とPR広告を活用し全国に発信することで、市内事業者の稼ぐ力の向上につなげていく。

**問** 子育てにやさしいまち大野情報発信強化事業の内容と目的は。

**答** 子育てに関する情報を分かりやすく市民に伝えることを目的とし、大野ですくすく子育て応援パッケージや夏休みみわくわくカレンダーなどを子育て世帯に配布。また屋内型子どもの遊び場の完成に併せ、親子連れに優しい飲食店を認定する。

市政会

高田 たかだ

育昌 やすまさ

議員



# 有終南小学校のグラウンド芝生化負担金とは

## 芝生化実行委員会負担金634万5千円を見込んでいる

**問** 有終南小学校のグラウンド芝生化負担金とは。

**答** 令和3年12月から、有終南小学校芝生化実行委員会と協議を行ってきた。本年度においては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、保護者や校区の人々が一定の権限と責任を持つて学校運営に参画する合議体である学校運営協議会の中で芝生化を議題の一つとして議論が行われ、教育委員会も協議に加わりサポートしてきた。

**問** 芝生化は充実した教育環境、地域交流の拠点として、学校、児童、保護者、地域の関係がより深まること期待できる事業であるとして、結論付けられ、教育委員会は、令和6年度に有終南小学校グラウンドの芝生化を支援することにした。

**答** 芝生化整備等に関する経費の負担や適切な維持管理について、実行委員会や関係者、学校、教育委員会との間で覚書を締結。実施に当たっては実行委員会の負担軽減を図るため、独立行政法人日本スポーツ振興センターの地域スポーツ振興くじ助成金の活用を予定し、整備等に係る財源として、助成金2367万6千円、実行委員会の負担金634万5千円を見込んでいる。

**問** 実行委員会が集められる負担額だと思いませんか。

**答** 実行委員会から集められると聞いている。

**問** 実行委員会が最終的に負担できないときはどうするか。

**答** 最後までどうしても払えないということについては、また相談させてもらいたいと考えている。

清風会

山崎 やまざき

利昭 としあき

議員



一般質問

# 再開し2年目を迎えるスターランド さかだにの今後の方針を問う



大野市民の会  
さかだに  
あき かず  
議員



本年6月以降の使用法の制限解除後は、新たな事業が実施できるよう関係機関と協議していく

- 問** 南六呂師区において、緊急時に光害対策の外灯では足元が不安だとの声があるが、市の対応は。
- 答** 防犯や緊急時の暗闇が心配される場合、光害対策の外灯を増設することは可能であり、令和6年度中は補助金がある。
- 問** 再開し2年目を迎えるスターランドさかだにの今後の方針を問う。
- 答** 運営協議会との連携を密にし、情報発信や適切な施設管理に努める。本施設整備には中山間地域農村活性化の補助金交付を受けていたが、本年6月以降に使用法の制限が解除される見込みである。
- 問** 解除後は、新たな事業が実施できるよう関係機関と協議していく。
- 問** 本施設は地域おこし協力隊も活用する予定と聞いているがどうか。
- 答** 内容は確認中だが、そば処を星関係のグッズで装飾するなどは聞いている。
- 問** ビジネスプランコンテストに対する市の考えは。
- 答** 実際にプランを実施する事業者とアイデア提案者が連携し、新たなビジネスを創出することを基本とし、令和8年度までの3カ年をめどに開催する予定である。商店街での事業承継を求める人や事業承継のタイミングで新しい分野に取り組み人など、幅広い参加者からのアイデアを募集している。
- 問** 選ばれたプランに対する補助額の設定が少なく感じるがどうか。
- 答** 令和7年度から実現に向けた補助金の創設を検討している。また、県を含めた広範な補助金の活用方法について、募集段階から周知する。

一般質問

# 令和6年度当初予算案がここまで大きくなった理由は



もえぎの会  
き ど や や よ み  
議員



ビュークリーンおくえつや小中学校の改修など、大型事業の実施のため

- 問** 令和6年度当初予算案の一般会計は、213億8000万円と過去最高額になり、それに特別会計と企業会計を合わせると、初めて300億円を超え約324億円となった。自主財源の割合は、初めて3割を切り、過去最低になった。市債約34億円は、過去数年間と比べても、2〜3倍になっている。令和5年度末地方債現在高見込み額は、約123億円である。予算案の規模がここまで大きくなった理由は。
- 答** また、令和7年度予定の主な大型公共事業は、ビュークリーンおくえつの基幹的設備改良工事の負担金に11億2745万6000円、防災行政無線の更新に4億8455万円、屋内型子どもの遊び場整備に3億808万円、小中学校の施設改修に16億1771万6000円などの大型事業の実施がある。令和7年度はビュークリーンおくえつの基幹的設備改良工事負担金で約7億4000万円を、また浄化センターの基幹的設備改良工事を複数年で予定しており、総額約19億5000万円を見込んでいる。有終南小学校と富田小学校の施設改修は、令和7〜9年度で約18億円を見込んでいる。
- 問** 第六次大野市総合計画の「行財政」項目の令和7年度末の成果指標が、財政調整基金の残高を20億円、将来負担比率を45・5割と掲げているが、達成できるのか。
- 答** 今後も大型・臨時事業が続く見込みだが、終了した後は、再び、将来に向けて財政調整基金に必要な額を積み立てたい。将来負担比率は、達成できると見込んでいる。今後とも財政の確保と健全財政の維持に努めていく。

# 林歌子の功績や魅力を郷土の宝として発信してはどうか



郷土の偉人の一人である林歌子について、市民への周知と来訪者への発信を行っていく

**問** 林歌子は元治元年代官町（現在の水落町）に生まれ、2歳で母を亡くし祖母と教育熱心な父に育てられ、明治10年女子師範学校に入学。翌11年明治天皇北陸巡幸の折、大隈重信の前で講義を行った。明治13年大野の小学校に赴任後、結婚するも、その後離婚や子を亡くすなどの悲嘆の中、勉強のために大野を離れる。しかし故郷を思い、市内の学校や幼稚園等での講演活動のため幾度も帰省している。まさに大野市教育理念にある進取の気象に富んだ女性である。

**答** 水落町にある林歌子の生誕地の保護と活用、その功績や魅力を郷土の宝として発信できないか。明治から昭和にかけて孤児の救済や女性の地位向上に尽力された林歌子の当時の活動は目覚ましく、教育者、社会事業家としての功績は、大阪市の社会福祉法人博愛社を中心に今も全国に影響を及ぼしていると認識しており、市では郷土が生んだ偉人の一人としての功績を紹介している。市民の動きとしては、「うた子の会」があり、また生誕地は昭和34年にライオンズクラブが設置しており、今後も保存に對して理解を求めている。今後さまざまな機会を捉えて市民への周知と来訪者への発信を行う。



林歌子生誕碑  
(水落町)



林歌子  
生没年1864~1964

もえぎ会  
うめばやし  
梅林  
あつこ  
厚子  
議員



# 大学の学部創設に対する働き掛けの考えは



企業誘致に似た考え。機会があれば、本市に誘致する方向へ持っていきたい

**問** 当初予算基本方針にある積極的な企業誘致の推進と創業支援、多様な働く場の創出とは。

**答** 物流関連産業や製造業、IT関連企業など、本年度を上回る数の企業と面談し、誘致活動を実施していく。創業支援については、相談窓口やセミナーの開催、まちなかの空き店舗や空き地、共同店舗への出店補助、創業資金借入れへの利子補給などの支援に加え、結のビジネス創出事業により、多様な雇用と働く場づくりに取り組む。

**問** 福井大学や県立大学に対し、社会福祉学部や農学部創設などを働き掛けては。

**答** 企業誘致に似た発想と理解する。機会があれば、本市に誘致する方向へ持っていきたいと思う。

**問** 本市の消防水利の現状は。

**答** 主に防火水槽や消火栓のほか、河川や用水路などの自然水利がある。人が住む地域を区画分けし、区画ごとの消防水利の有無により充足率として表している。令和4年4月1日時点、必要区画数928に対して552区画に消防水利が整備され、充足率は59.5割。

**問** 積雪時には、細かい用水路の水量が懸念されるが、消火活動に支障はないのか。

**答** 用水路などの自然水利は投雪により使用できない場合が多く、防火水槽や消火栓の管理が特に重要になる。自然水利は日々水量が変動することから、職員が朝・夕の2回、市街地を巡回し主な水路の水量を調査し、火災出動時の水利情報として活用している。今後も消防水利の維持管理に万全を期していく。

大野市民の会  
かしもと  
かずとし  
岸本  
一敏  
議員



(○猪嶋、○伊東、笹山、白崎、林、山崎、廣田、梅林)

元町会館の指定管理者の指定



大野市元町会館

◎理事者の説明

指定管理者を引き続き、元町会館運営委員会とし、指定管理期間を令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3カ年とする。

◎委員の意見

指定管理者に対し、管理範囲を明確にして指定されたい。

当該施設における越前のおおの観光ビューローが使用する部分は、今後の観

光ビューローの業務運営を見据え、関係者と十分協議の上、結ステーション内の事務所との統合に向けて検討されたい。

文化会館のあり方検討

◎理事者の説明

現敷地での新築案、駅東公園での新築案、結びあの新築案、図書館の増築案について、概算事業費やランニングコストの調査の結果を基に、文化会館あり方検討委員会に協議し、秋ごろに意見をとりまとめる。

◎委員の意見

調査結果等は、当委員会にも示されたい。

国民健康保険の課税額等の改定

◎理事者の説明

令和5年度の被保険者の数と所得をベースに比較した場合、1人当たりの保険税額の平均は、年間4205円増加する。

◎委員の意見

おおのヘルスウオーキングプログラムの実施など、これまでも医療費の適正化に取り組んでいるものの、国保財政を健全化するためには、税額等の改定が必要である旨を市民に伝えられたい。

結の故郷ビジネスサポートチーム

◎理事者の説明

令和5年度実績は、相談会を9回開催し、11事業者から商品開発やイベント企画、事業拡大などの相談を受け、継続的に支援した。

◎委員の意見

相談・支援の結果、各事業者でどの程度の売り上げ増加につながったかを成果として報告されたい。



結の故郷ビジネスサポートチームが相談を受け実施されたイベント「重機パークin越前おおの」

委員会の傍聴ができます！

傍聴可能委員会

- ・常任委員会
- ・特別委員会

申し出方法

- ・申し出書を議会事務局に提出
- ・議会開会日から受け付け
- ・申し出書は自署する場合、押印不要

※ただし、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付ける場合があります。

インターネット放映

本会議をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

スマートフォンによる視聴は、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。



議会だよりをリニューアル

議会改革の取り組みの一つとして、議会活動の見える化を目指し、議会だよりNo.228から紙面をリニューアルします。

読みやすくするためのポイント

- 数字や英字を読みやすくするため、**横書き**にします。
- 横書きレイアウトに合わせて、**左綴じ**にします。
- 一般質問などの記事の**文字を大きく**します。

# ▽総文厚生

(◎廣瀬、○岸本、帰山、木戸屋、野村、高田、堀田、高岡)

## 学校改修工事

### ◎理事者の説明

開成中学校及び陽明中学校で確認された老朽化に起因する外壁劣化等への対応として、令和6年度に予定されていた体育館の改修を延期し、その分の予算をこの改修経費に充てる。

### ◎委員の意見

改修工事に係る実施設計業務での確認が甘く、改修が遅れる体育館の安全性が憂慮される。今後予定する小学校改



陽明中学校の改修

## 所管調査

陽明中学校長寿命化改良(統合)工事について、整備状況を現地で確認した。



改修された普通教室

修においては、実施設計の段階で十分な確認と、経費の削減を検討された。

## 大野市介護保険条例の一部を改正する条例案

### ◎理事者の説明

介護保険法等の一部改正に伴い、介護保険料の基準額の月額を引き下げ、低所得者に配慮し、所得段階区分を現行の10段階から13段階に改める。この改正により、段階区分が第10段階以上となる約3割の高所得者の負担が増える一方で、第

3段階までの約24割の低所得者の負担は軽減される。

### ◎委員の意見

介護保険料を支払っても、介護サービス事業所の受け入れ体制が整っていないため十分な支援が受けられないといったことがないように、介護に携わる人材の確保と処遇改善について、国などに働き掛けられたい。

## 学校体育施設のオンライン予約

### ◎理事者の説明

福井県電子自治体推進協議会施設予約サービスを利用した学校体育施設のオンライン予約を3月1日から開始した。



学校体育施設

システムの導入により、施設利用申し込みと同時に使用料が発生し、

学校行事やグラウンドが雨天等により使用できないときなどの理由以外でのキャンセルは、原則認めないこととしたことから、適切な施設の予約と利用が見込まれる。

### ◎委員の意見

利用者に対し、予約手続きの方法を周知徹底させたい。

### ◎委員の意見

本施設の耐震化について、来館者の安全を確保するため、継続して検討されたい。

## 大野市民俗資料館

### ◎理事者の説明

年末年始と館内整理期間にのみ休館としていたが、令和6年度からは毎週月曜日も休館とする。

### ◎委員の意見

本施設の耐震化について、来館者の安全を確保するため、継続して検討されたい。



大野市民俗資料館

## 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨(具体的に)
  - ②提出年月日、提出者の住所・氏名(署名又は記名押印)
  - ③請願書の場合は、紹介議員の署名(1人でよい)
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
(☎0779-64-4830)

## 会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や議会図書室で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。

ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。なお、印刷物が必要な場合はコピー代がかかります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
(☎0779-64-4830)

# 予算特別委員会報告

## 総括質疑

(◎山崎、○林、議長を除く議員)

### 【結ステーション駐車場の有料化】



結ステーション駐車場

#### ◎委員の質疑

結ステーションの駐車場有料化において、市民や屋内型子どもの遊び場利用者の負担をどのように考えているか。

#### ◎理事者の答弁

令和6年度は利用実態調査を行い、料金システム設備を設置し、料金体系や割り引きの仕組みなどを検討する。令和7年度で最適な料金を設定するための試験運用を進める。

駐車場利用は有料を基本とするが、短時間駐車の場合、屋内型子どもの遊び場など周辺施設を利用する場合、中心市街地で買い物をする場合など、想定される事案を洗い出し、料金の在り方や駐車場の管理・運営方法などを決定していく。

### 【企業誘致の推進】

#### ◎委員の質疑

市ではどの程度の規模で、どのような企業の誘致を想定しているのか。

#### ◎理事者の答弁

企業誘致活動においては、働く人にとって魅力ある企業の誘致に努めている。製造・物流業で柔軟な勤務時間やリモートワークなどの働き方を重視した企業、最新の人工知能や自動化技術を活用し業務の効率化を図る企業、キャリア開発などスキルを磨きながら意欲的に働ける環境を整えているIT関連企業など、さまざまな企業に誘致活動を行っている。

### 【タクシー助成制度】

#### ◎委員の質疑

福祉タクシー及び高齢者外出支援タクシーの利用料金助成の拡充、乗り合いタクシーの会員制度創設により、どのような効果を期待しているのか。

#### ◎理事者の答弁

障がい者、高齢者や免許返納者など、移動に困っている人に手厚い外出支援をするとともに、タクシー利用の需要を促し、タクシー事業者に対し側面から支援を行う。

### 【人口減少対策】

#### ◎委員の質疑

国立社会保障人口問題研究所が公表した2050年までの地域別推計人口では、本市は県内6番目から8番目の人口になり、生産年齢人口の減少割合は、県内9市で最下位となると予測されている。令和6年度予算における人口減少対策は。

#### ◎理事者の答弁

北陸新幹線の開業、令和8年春の中部縦貫自動車道大野油坂道路開通という100年に一度のチャンスを最大限生かせるよう、高付加価値商品の開発支援や、ビジネスプランの提案者と実行者のマッチングによる新たなビジネスの創出などに取り組む。

また、若者が本市で希望を持って結婚や妊娠、出産、子育てをすることができるよう、「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の推進や屋内型子どもの遊び場の整備に取り組む。



屋内型子どもの遊び場の内観イメージ

# 予算特別委員会報告

## くらし産業分科会

(◎猪嶋、○伊東、笹山、白崎、林、山崎、廣田、梅林)

### 【越前おおの水のがっこう管理運営経費】

#### ◎委員の意見

本願清水イトヨの里の活用と併せて、運営経費の削減を念頭に、水のがっこうの在り方を検討されたい。



越前おおの水のがっこう

## 総文厚生分科会

(◎廣瀬、○岸本、帰山、木戸屋、野村、高田、堀田、高岡)

### 【クラウドファンディングで叶える地域の未来応援事業】

市民の主体的活動の促進などにより、地域課題の解決や地域の魅力向上を目指すものである。

#### ◎委員の意見

市制施行70周年を契機に、関係部署と連携し、ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングを積極的に活用しながら、大野ファンを増やしていかれたい。

## 中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会報告

(◎林、○岸本、帰山、山崎、高田、梅林、高岡)

### 【中部縦貫自動車道の除雪体制】

12月22日に荒島IC・九頭竜IC間が大雪に伴う予防的通行止めにより集中除雪がなされた。

国道158号の蕨生から東市布間も通行止めをして除雪作業が行われたことにより、この間の和泉地区との往来ができない状況となった。

#### ◎委員の意見

スクールバスの運行をはじめ、市民の生活に支障を来すことがないように、道路管理者に対し、万全の除雪体制を求められたい。

## こども政策・公共施設等改革特別委員会報告

(◎伊東、○笹山、猪嶋、白崎、木戸屋、廣瀬、野村)

### 【公共施設の適切な管理運営】

#### ◎理事者の説明

公共施設の再編をさらにスピード感を持って進めることができるよう、財政経営課内に課内室を設置し、公共施設再編の進捗管理や調整機能を強化し、各部局が担当する案件を着実に進めていきたい。

#### ◎委員の意見

新設される課内室による支援がしっかりと行われ、再編計画の確実な進捗が図られることを期待する。

## 6月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27 本会議 (開会) 特別委員会 (予算)	28 議案調査	29 議案調査	30 議案調査	31 議案調査	6/1
2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 常任委員会 (くらし産業) 特別委員会 (予算分科会)	6 常任委員会 (総文厚生) 特別委員会 (予算分科会)	7 委員会予備日	8
9	10 委員会予備日	11 委員会予備日	12 委員会予備日	13 特別委員会 (予算)	14 特別委員会 (中部縦貫自動車道等交通対策) (こども政策・公共施設等改革)	15
16	17 委員会予備日	18 委員会予備日	19 本会議 (閉会)	20	21	22

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

本会議と常任委員会は、午前10時の開会を予定しています。

中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会は午前10時開会、こども政策・公共施設等改革特別委員会は午後1時開会を予定しています。

5月27日の予算特別委員会は本会議終了後に、6月13日の予算特別委員会は午前10時の開会を予定しています。

日程や会議時間は、予定のため変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。(☎ 0779-64-4830)

# 令和6年3月第438回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認・同意・趣旨採択とした議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名			
市長提出議案	3	可決	令和6年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	市長提出議案	25	可決	大野市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	
	4	可決	令和6年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案		28	可決	大野市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例及び大野市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	5	可決	令和6年度大野市介護保険事業特別会計予算案		30	可決	大野市立農村集落多目的共同利用施設設置条例の一部を改正する条例案	
	6	可決	令和6年度大野市水道事業会計予算案		31	可決	大野市下水道事業の設置等に関する条例及び大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	
	7	可決	令和6年度大野市簡易水道事業会計予算案		32	可決	大野市消防手数料条例の一部を改正する条例案	
	8	可決	令和6年度大野市下水道事業会計予算案		33	可決	大野市学校給食センター設置条例を廃止する条例案	
	10	可決	令和5年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案		34	可決	笛資料館設置条例を廃止する条例案	
	11	可決	令和5年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第2号)案		36	可決	大野市営大納ハイツ設置条例を廃止する条例案	
	12	可決	令和5年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案		37	可決	大野市過疎地域持続的発展計画の変更について	
	13	可決	令和5年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)案		38	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度大野市一般会計補正予算(第8号))	
	14	可決	令和5年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)案		39	同意	固定資産評価審査委員会委員の選任について	
	15	可決	令和5年度大野市水道事業会計補正予算(第2号)案		40	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	
	16	可決	令和5年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第2号)案		41	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	
	17	可決	令和5年度大野市下水道事業会計補正予算(第2号)案		42	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	
	18	可決	大野市公共施設等総合管理基金設置条例案		89	可決	指定管理者の指定について(大野市元町会館)	
	20	可決	大野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例案		市会案	1	可決	鳥獣害防止対策の強化を求める意見書について
	23	可決	大野市立学校設置条例の一部を改正する条例案		陳情	1	趣旨採択	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書
	24	可決	大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案					

## 各議員の表決が分かれた議案

議案番号・議案名		議員名(議席番号順)	議決結果	笹山晃一	梅山寿章	猪嶋清文	岸本一敏	白崎貴之	木戸屋八代美	林順和	廣瀬浩司	伊東由起恵	山崎利昭	野村勝人	高田育昌	廣田憲徳	堀田昭一	梅林厚子	高岡和行
市長提出議案	1	令和6年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	2	令和6年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	9	令和5年度大野市一般会計補正予算(第9号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	19	大野市バス運行事業に関する条例の全部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	21	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	22	大野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	26	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	×
	27	大野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
	29	大野市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例及び大野市指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
35	大野市中小企業退職金共済制度加入促進補助金交付条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	

議長(堀田昭一)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×

## 編集後記

本年度から中学校が2校になりました。1カ月を過ぎようとする今、市内には8台のスクールバスが登下校時に活躍してくれています。

行きは「いってらっしゃい」と一日の無事を願い、帰りは「おかえり」と一日の労をねぎらい、運転手さんと共にバスも最長3年間の縁(えにし)を共にすることでしょう。

長きにわたり経緯を見てきた者として、中学校の統廃合が子どもたちにとって前途洋々たる教育環境になることを願ってやみません。大野市の大切な大切な子どもたちを温かく見守りつつ、政治家としての責任と、「一張一弛は人道の常」として、これからも皆さまの暮らしの声を市政に反映して参りたいと思います。(座長 梅林厚子)

## 議会だより編集委員会

委員 梅林厚子  
岸本一敏  
伊東由起恵  
山崎利昭

※次回は、7月下旬の発行を予定しています。